

5. 6 日付チェック (DATECK)

ZADATECK

機能

年号と日付を指定して、その日付が範囲内か否か、チェックを行います。年号が省略された場合日付は西暦とし、指定された場合和暦としてチェックを行います。

呼び出し形式

一般形式

$$@ZADATECK \left(\begin{matrix} [\Delta] \\ 1 \\ 2 \\ 3 \\ 4 \\ 5 \end{matrix} \right), CKDATE, RESULT);$$

1. 西暦日付チェックを行う場合

@ZADATECK(, CKDATE, RESULT);

2. 和暦日付チェックを行う場合

$$@ZADATECK \left(\begin{matrix} 1 \\ 2 \\ 3 \\ 4 \\ 5 \end{matrix} \right), CKDATE, RESULT);$$

番号	パラメータ	指定データ名	I/O	データ属性	説明
1	—	1 2 3 4 5	—	—	西暦の時省略します 1：明治の時 2：大正の時 3：昭和の時 4：平成の時 5：令和の時
2	CKDATE	年月日	I	9 (—)	西暦日付チェックの時西暦8桁 (YYYYMMDD) で指定します 和暦日付チェックの時和暦6桁 (YYMMDD) で指定します
3	RESULT	結果	O	9X (01)	9：第1パラメータ指定エラー (省略, 1, 2, 3, 4, 5以外) 1：日付チェック結果エラー (範囲外) 0：正常

説 明

パラメータ対応表

	パラメータ番号	1	2	3
呼び出し番号	パラメータ名 呼び出し形式	—	C K D A T E	R E S U L T
1	西暦日付チェックを行う場合		○	○
2	和暦日付チェックを行う場合	○	○	○

○：必須 △：任意

- 年号を省略した場合は、西暦日付チェックとみなし日付をYYYYMMDD形式で指定します。
年号を指定した場合は、和暦日付チェックとみなし日付をYYMMDD形式で指定します。
- 和暦の指定による範囲チェックは次のとき正しいものとします。

明治	1年 9月 8日	～	45年 7月 29日
大正	1年 7月 30日	～	15年 12月 24日
昭和	1年 12月 25日	～	64年 1月 7日
平成	1年 1月 8日	～	31年 4月 30日
令和	1年 5月 1日	以降	